

海津市コミュニティバスの利用状況

定時定路線バス

- ▶ 平成28年度～令和元年度の推移をみると、**全体として減少傾向**にある。
- ▶ コロナ禍の影響を令和元年度比でみると、令和2年度の利用者数は**24%** (22,204人) **減**、令和3年度は**21%** (19,164人) **減**となっている。

海津羽島線

- ▶ 令和3年度の利用者数を令和元年度と比較すると、**15%** (6,843人) **減少**している。
- ▶ 令和2年3月～5月は、**休校の影響**により大きく落ち込んだものの、令和3年度の通学定期利用者数は令和元年度の**8割程度にまで回復**していることから、**羽島方面からの通学利用は概ね回復基調**にあるといえる。
- ▶ 例年、お千代保稲荷への参拝者が利用することから1月の利用者数が突出して多くなるが、コロナ禍前の令和元年1月と比べると、令和2年1月は**38%** 減、令和3年1月は**24%** 減となっており、**初詣の利用が減少**していると考えられる。

南幹線

- ▶ 令和3年度の利用者数を令和元年度と比較すると、**39%** (9,623人) **減少**している。
- ▶ 令和2年3月～5月は、**休校の影響**により、通学定期利用者数が他の路線に比べ大きく落ち込んだが、その後も減少傾向が続き、令和3年度は令和元年度の**4割程度**に留まっていることから、**駒野駅からの通学利用は回復していない**といえる。

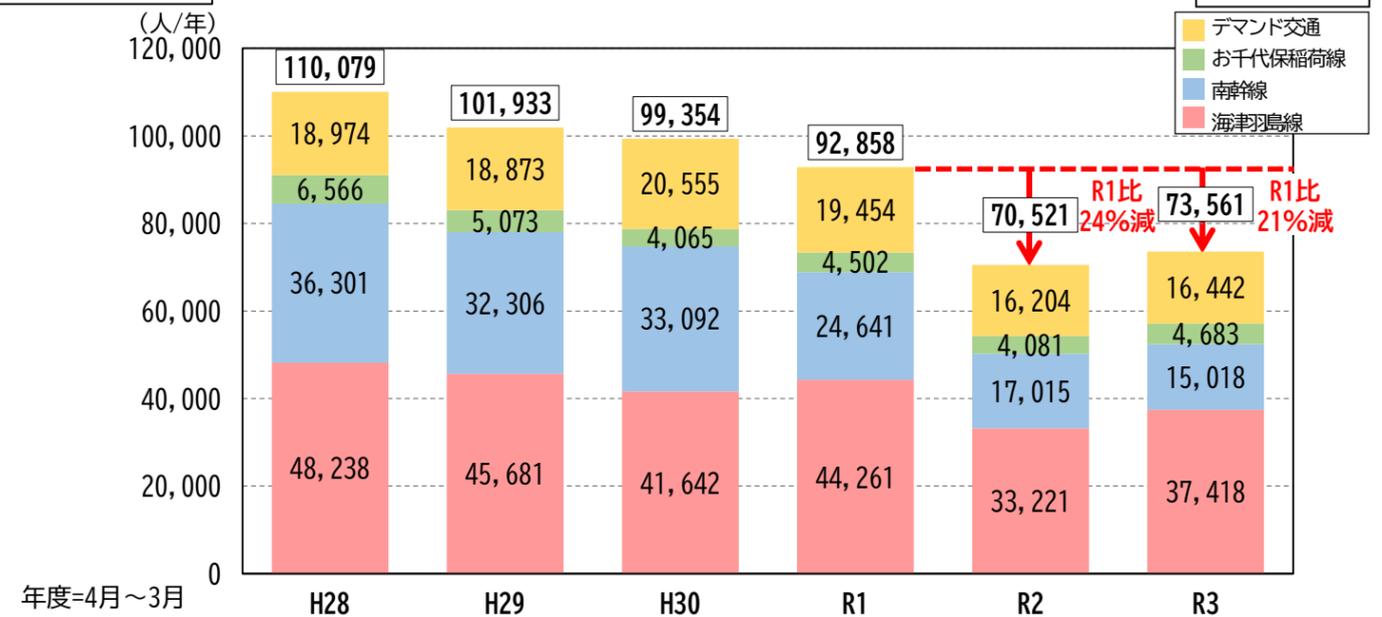
お千代保稲荷線

- ▶ 令和3年度の利用者数を令和元年度と比較すると、**4%** (181人) **増加**している。
- ▶ 令和2年3月～5月は、**休校の影響**により、通学定期利用者数が大きく落ち込んだが、その後は**ほぼ回復**しており、令和3年度は令和元年度比で**16%** (424人) **増加**、令和2年度比で**21%** (532人) **増加**となっている。これは他の路線と比べ**小学生・高校生の通学利用の全体に占める割合が大きい**ことに起因すると思われる。

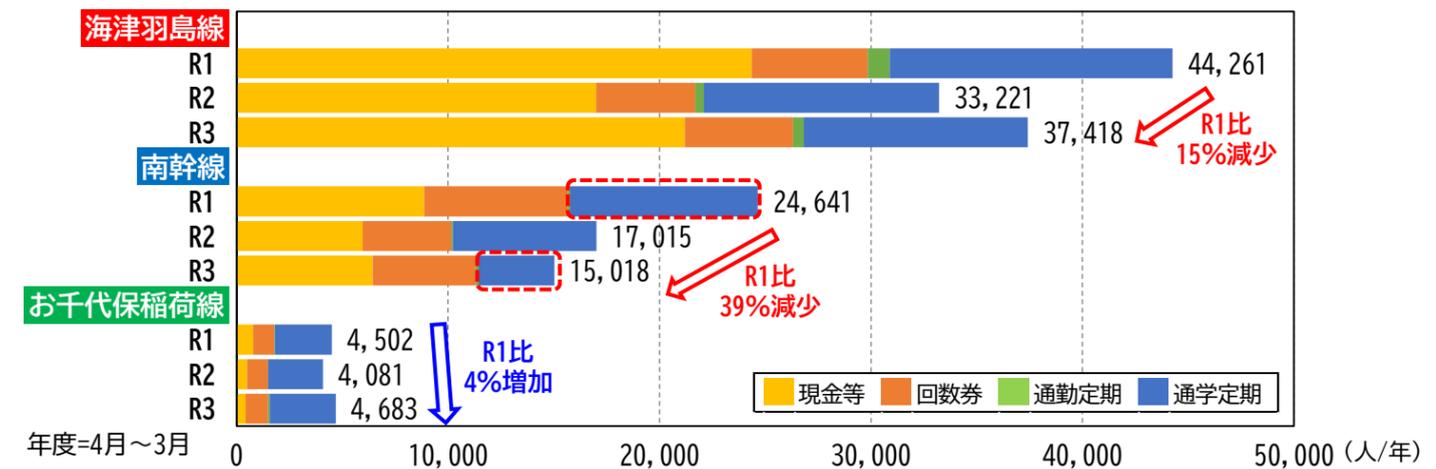
デマンド交通

- ▶ デマンド交通の令和3年度の利用者は、令和元年度比で**15%** (2,879人) **減少**しているが、定時定路線と比較するとその減少幅は小さい。
- ▶ 1回目の緊急事態宣言の期間は、利用者数が大きく落ち込んだが、2回目と3回目は大きな減少は見られず、定時定路線バスと比較して**コロナ禍の影響は小さい**といえる。

年間利用者数



路線別・券種別利用者数



路線別・月間利用者数

